

浜松市の歴史的風致に関するアンケート調査
結果報告書

令和4年12月

浜松市都市整備部 土地政策課

1. 調査の概要

1. 調査実施者 浜松市 都市整備部 土地政策課（歴史まちづくりグループ）
2. 調査期日 令和4年10月6日～10月31日
3. 調査対象者 浜松市の18歳以上の居住者1,000人（外国人を除く）
（参考）母集団：672,383人。住民基本台帳による令和4年9月1日現在
4. 標本の抽出 標本調査法に基づく等間隔無作為抽出法に拠る
5. 調査票の送付・回収 郵送法に拠る（回収期限：令和4年10月31日）
6. 回収数・回収率 276人（回収率27.6%）

※ 年代別回収率からみて、調査内容が一般に高齢者層に比べて若年層に関心が低い歴史に関するテーマであったこと、及び浜松市の歴史的風致に関する市民の価値観を金銭評価する仮想市場評価法（CVM）による設問を含んでいるため馴染みにくく通常の市民アンケートの回収率よりやや低くなったと思われます。

7. 標本の信頼性
- ・回収した標本（ $n=276$ ）の属性（性別、年代別、居住区別）の構成比が18歳以上の浜松市民（母集団）の構成を反映した縮図になっているか、偏りがあるとすれば、それは標本誤差の範囲内であるとみなせるのかどうかを χ^2 （カイ二乗）の適合度検定により調べました。
 - ・居住区については、回収標本は母集団の構成比を反映している縮図とみなすことができ、回答数の合計を、そのまま市全体の集計結果と見なしてもよいという検定結果となっています。

$$(\text{居住地}) \hat{\chi}^2_{0.}(6)=2.637 < \chi^2_{0.05}(6)=12.59$$

※ $\hat{\chi}^2_{0.}(6) 2.637$ は標本の自由度6の検定統計量

※ $\chi^2_{0.05}(6) 12.59$ は自由度6の上位5%の境界値

- ・性別、年代別にみた場合、回収標本はそれぞれ女性の回答が男性より多く、また、若年層の構成比が小さい一方で、60代と70代の高齢層の回答数の構成比が大きく、偏りがみられるため、それぞれそのまま性別の回答数の合計、及び各年代の回答数を合計した数字で浜松市の全体を語らせることができませんでした。

$$(\text{性別}) \hat{\chi}^2_{0.}(1)=5.68 > \chi^2_{0.05}(1)=3.84$$

$$(\text{年代別}) \hat{\chi}^2_{0.}(7)=42.05 > \chi^2_{0.05}(7)=12.59$$

・そのため、本調査では、性別の回答数に性別調整率、各年代の回答数に年代調整率（それぞれ住民基本台帳の性別構成比÷アンケート調査の性別回収数構成比、年代別人口構成比÷アンケート調査の年代別回収数構成比）を乗じて、補正した浜松市全体の集計結果としています。調整前の調査結果の性別、年代別浜松市の合計値については併記し、補正值のセルを青色で着色しています。

・各質問の性別、年代別クロス集計表でも浜松市の合計値について補正し結果を併記しています。補正した年代調整済の合計値の方を、当該集計表の浜松市全体の結果と理解して下さい。

なお、回収標本の年代別偏りは、性別、居住区別などすべての集計表に潜在的に含まれていますが、276人の原データに軽重を付けて改変することは好ましくないため、本調査では年代調整は年齢別集計表のみに限定しています。

8. 調査結果の信頼度

276人の回答数は、標本誤差の公式から計算して、95%の確からしさで±5.9%の標本誤差を伴っていると言えます（右表参照）。

t 値	1.96
母集団	672,383
標本	276
p	0.5
1-p	0.5
標本誤差	0.059

また、集計表内の集計値がこの276より小さい場合はその数字の持っている標本誤差は大きくなることに留意願います（標本誤差一覧表）。

（標本誤差一覧表）

報告書内の質問に対する回答数（n）とその回答率（%）に含まれる標本誤差の大きさ（±）

%	n	標本数 n (各設問に対する回答数)												
		20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260
回 答 の %	10%	0.13	0.09	0.08	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	20%	0.18	0.12	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05
	30%	0.20	0.14	0.12	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06
	40%	0.21	0.15	0.12	0.11	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06
	50%	0.22	0.15	0.13	0.11	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06
	60%	0.21	0.15	0.12	0.11	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06
	70%	0.20	0.14	0.12	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06
	80%	0.18	0.12	0.10	0.09	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05
	90%	0.13	0.09	0.08	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	100%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(標本誤差の公式)

$$\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{母集団数} - \text{回答者数}}{\text{母集団数} - 1} \times \frac{\text{回答割合}(\%) \times (1 - \text{回答割合}(\%))}{\text{回答者数}}}$$

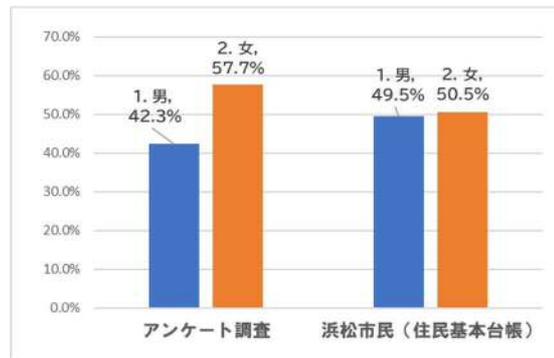
2. 調査の結果

質問1 回答者の属性について（ご回答いただく方についてお尋ねします）

- ・回答数は276人でした。
- ・性別では女性、年代別では60代と70代の回答が多くなっています（浜松市の合計値では補正しています）。
- ・居住区別では、回答の構成比はほぼ浜松市の縮図となっています。

表 1-1 性別回答者数（基本集計 n=276）

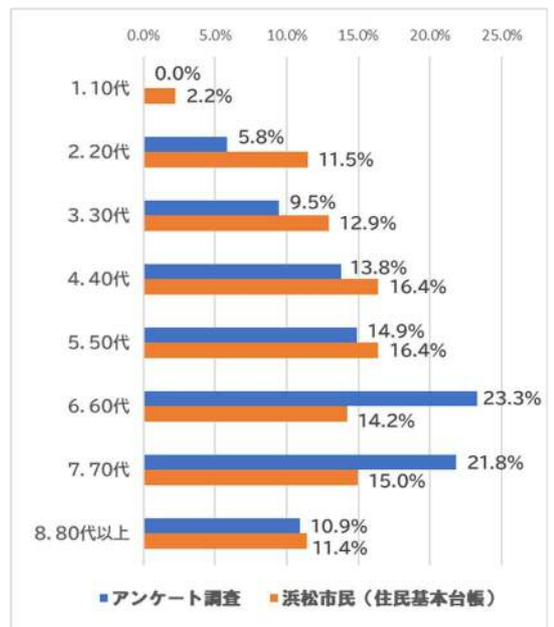
性別にみた回答者数	アンケート調査 (人)		(参考) 浜松市の 18歳以上人口	
	回答者数	構成比	人口	構成比
1. 男	115	41.7%	332,846	49.5%
2. 女	157	56.9%	339,537	50.5%
3. その他	0	0.0%		
無回答	4	1.4%	-	-
計	276	100.0%	672,383	100.0%



(注) アンケート調査の%は無回答を除く

表 1-2 年代別回答者数（基本集計 n=276）

年代別にみた回答者数	アンケート調査 (人)		(参考) 浜松市の 18歳以上人口	
	回答者数	構成比	人口	構成比
1. 10代	0	0.0%	14,822	2.2%
2. 20代	16	5.8%	77,043	11.5%
3. 30代	26	9.4%	86,964	12.9%
4. 40代	38	13.8%	110,201	16.4%
5. 50代	41	14.9%	110,282	16.4%
6. 60代	64	23.2%	95,749	14.2%
7. 70代	60	21.7%	100,622	15.0%
8. 80代以上	30	10.9%	76,700	11.4%
無回答	1	0.4%	-	-
計	276	100.0%	672,383	100.0%



(注) アンケート調査の%は無回答を除く

表 1-3 居住区別回答者数（基本集計 n=276）

年代別にみた 回答者数	アンケート調査 (人)		(参考) 浜松市の 18歳以上人口	
	回答者数	構成比	人口	構成比
1. 10代	0	0.0%	14,822	2.2%
2. 20代	16	5.8%	77,043	11.5%
3. 30代	26	9.4%	86,964	12.9%
4. 40代	38	13.8%	110,201	16.4%
5. 50代	41	14.9%	110,282	16.4%
6. 60代	64	23.2%	95,749	14.2%
7. 70代	60	21.7%	100,622	15.0%
8. 80代以上	30	10.9%	76,700	11.4%
無回答	1	0.4%	-	-
計	276	100.0%	672,383	100.0%



(注) アンケート調査の%は無回答を除く

質問2 浜松市の歴史的風致^{*1} について、お考えをお尋ねします。

※1 歴史的風致とは

「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境と定義（歴史まちづくり法1条）しており、ハードとしての建造物とソフトとしての人々の活動を合わせた概念です。

質問2-1 浜松市の歴史的風致について、関心をお持ちですか。

- ・無回答3人を除く有効回答数は273人でした。
- ・「1. 関心がある」と答えた方はうち約半数の135人（49.5%）でした。「2. 関心がない」と答えた方は32人（11.7%）、また「3. どちらともいえない」という回答は106人（38.8%）でした。
- ・「1. 関心がある」と答えた回答率は、性別では男性がやや多く、年代別では高齢になるほど高くなる明確な傾向がみられます（30代30.8%～80代66.7%）。居住区別では天竜区（75.0%）、東区（56.8%）の関心が高く、南区（39.4%）、北区（44.1%）で低い結果となっています。
- ・次の質問2-2の「どのような分野に関心がありますか」という質問に答えた回答者数は246人（90.1%）でした。具体的に例示をあげた質問への回答では9割の人が関心を寄せている浜松市の歴史や文化があることがわかります。

表 2-1-1 歴史的風致に対する関心（基本集計）

	回答数	構成比
1. 関心がある	135	49.5%
2. 関心がない	32	11.7%
3. どちらともいえない	106	38.8%
無回答	3	1.1%
計（無回答を除く有効回答）	273	100.0%
（参考）関心がある分野の回答者数	246	90.1%

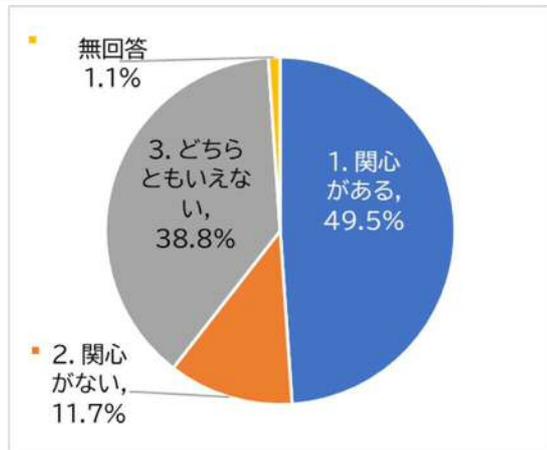


表 2-1-2 歴史的風致に対する関心（性別）

	回答数			構成比			性別計 補正值
	男	女	計	男	女	計	
1. 関心がある	59	76	135	51.8%	47.8%	49.5%	49.7%
2. 関心がない	14	18	32	12.3%	11.3%	11.7%	11.8%
3. どちらともいえない	41	65	106	36.0%	40.9%	38.8%	38.5%
無回答	1	2	3	0.9%	1.3%	1.1%	-
計（無回答を除く有効回答）	114	159	273	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
（参考）関心がある分野の回答者数	103	146	249	90.4%	91.8%	91.2%	91.3%

表 2-1-3 歴史的風致に対する関心（年代別）

	年代別回答数（人） ※ 計は年齢不詳1名を含む								年代計 補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
1. 関心がある	3	8	14	17	33	39	20	135	124
2. 関心がない	6	6	4	1	8	2	5	32	38
3. どちらともいえない	7	12	19	22	22	19	5	106	111
無回答	0	0	1	1	1	0	0	3	3
計（無回答を除く有効回答）	16	26	37	40	63	60	30	273	273
(参考) 関心がある分野の回答者数	14	24	34	36	58	58	27	252	250

	年代別回答数（構成比） ※ 計は年齢不詳1名を含む								年代計 補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
1. 関心がある	18.8%	30.8%	37.8%	42.5%	52.4%	65.0%	66.7%	49.5%	45.3%
2. 関心がない	37.5%	23.1%	10.8%	2.5%	12.7%	3.3%	16.7%	11.7%	13.9%
3. どちらともいえない	43.8%	46.2%	51.4%	55.0%	34.9%	31.7%	16.7%	38.8%	40.8%
無回答	0.0%	0.0%	2.7%	2.5%	1.6%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
計（無回答を除く有効回答）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(参考) 関心がある分野の回答者数	87.5%	92.3%	91.9%	90.0%	92.1%	96.7%	90.0%	92.3%	91.7%

表 2-1-4 歴史的風致に対する関心（居住区別）

	居住区別回答数（人） ※ 計は居住区名不詳3名を含む							
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
1. 関心がある	37	21	21	13	15	17	9	135
2. 関心がない	10	3	4	5	4	5	0	32
3. どちらともいえない	31	13	17	15	15	12	3	106
無回答	1	1	0	0	1	0	0	3
計（無回答を除く有効回答）	78	37	42	33	34	34	12	273
(参考) 関心がある分野の回答者数	72	34	38	30	31	30	11	252

	居住区別回答数（構成比） ※ 計は居住区名不詳3名を含む							
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
1. 関心がある	47.4%	56.8%	50.0%	39.4%	44.1%	50.0%	75.0%	49.5%
2. 関心がない	12.8%	8.1%	9.5%	15.2%	11.8%	14.7%	0.0%	11.7%
3. どちらともいえない	39.7%	35.1%	40.5%	45.5%	44.1%	35.3%	25.0%	38.8%
無回答								
計（無回答を除く有効回答）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(参考) 関心がある分野の回答者数	92.3%	91.9%	90.5%	90.9%	91.2%	88.2%	91.7%	92.3%

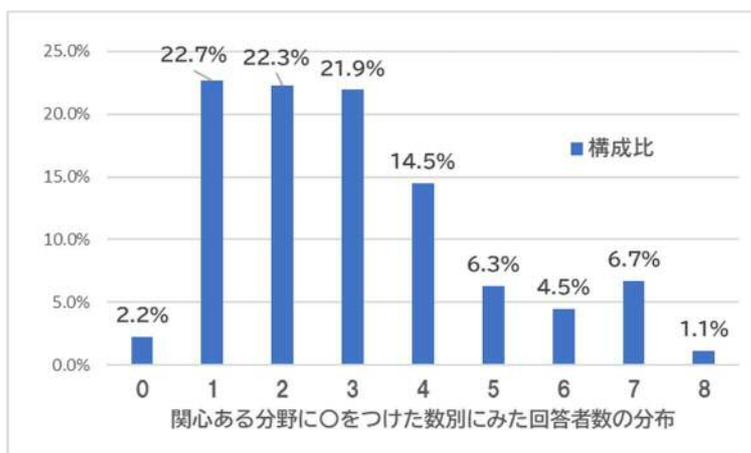
質問2-2 浜松市の歴史や文化に関して、どのような分野に興味がありますか。

- ・無回答6人を除く有効回答者数は270人、回答総数は830でした。1人あたり約3分野について○を付けたこととなります。
- ・**関心が高かった分野**は、「1.神社・寺院」(対回答者数比60.0%)、「3.古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的まち並み」(同49.6%)、「2.貝塚・古墳・城跡などの史跡」(同44.8%)などでした。
- ・逆に、相対的に関心の低かった分野は、「6.棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の営みと関係の深い文化的景観」(同28.9%)、「7.祭礼・民族芸能」(同37.4%)、「5.鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁・隧道(トンネル)などの産業遺産」(37.8%)などの分野でした。
- ・**関心の高い分野の特徴**は、「1.神社・寺院」のように、神社仏閣などの歴史的建造物と初詣、墓参りなど冠婚葬祭が普段から広く市民生活に溶け込んでいること、「2.貝塚・古墳・城跡などの史跡」のように、歴史的史跡が目に見える形で幼少期から触れる機会が多いことなどがあげられます。
- ・**関心の低かった分野の特徴**は、「5」の産業遺産のように歴史が比較的新しい分野で歴史的風致であることの浸透度がまだ低いこと、「6」の棚田や里山のように永い年月を経て形成され見慣れたた景観であるが、その永い歴史と人々の営みに思いを馳せる機会が少ないことなどをあげることができます。

表2-2-1 浜松市の歴史や文化に関心がある分野（基本集計）

浜松市の歴史や文化に関する分野	記号	回答数	構成比	対回答者 総数比
			分母=d	分母=e
1. 神社・寺院	a	162	19.5%	60.0%
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡		121	14.6%	44.8%
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的まち並み		134	16.1%	49.6%
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道		105	12.7%	38.9%
5. 鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁・隧道(トンネル)などの産業遺産		102	12.3%	37.8%
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の営みと関係の深い文化的景観		78	9.4%	28.9%
7. 祭礼・民族芸能		101	12.2%	37.4%
8. その他		6	0.7%	2.2%
9. 関心がない		21	2.5%	7.8%
無回答	b	6		2.2%
計 (a+b)	c	836		
無回答を除く有効回答数 (c-b)	d	830	100.0%	307.4%
無回答を除く回答者総数 (276人-b)	e	270		100.0%

表 2-2-2 「関心がある」分野に○を記入した数別にみた回答者の分布



関心がある具体的に例示した8分野のうち3分野に○を付けた人が平均ですが、4分野以上に○を付けた人も合わせて33.1%と3人に1人上っています。

・性別にみた関心のある分野 男性と女性とで平均値（性別計補正值）より高い回答のあった分野を灰色で示しました。男性では「2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡」、「4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道」、「7. 祭礼・民族芸能」が、女性では「1. 神社・寺院」、「3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的まち並み」などに関心が高い傾向が現れています。

表 2-2-3 性別にみた関心がある分野

性別回答数	回答者数			対有効回答者数比			性別計補正值
	男	女	計	男	女	計	
浜松市の歴史や文化に関する分野							
1. 神社・寺院	63	99	162	56.3%	62.7%	60.0%	59.5%
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡	56	65	121	50.0%	41.1%	44.8%	45.5%
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的まち並み	44	90	134	39.3%	57.0%	49.6%	48.4%
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道	48	57	105	42.9%	36.1%	38.9%	39.4%
5. 鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁 隧道(トンネル)などの産業遺産	40	62	102	35.7%	39.2%	37.8%	37.5%
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の 営みと関係の深い文化的景観	30	48	78	26.8%	30.4%	28.9%	28.6%
7. 祭礼・民族芸能	44	57	101	39.3%	36.1%	37.4%	37.6%
8. その他	3	3	6	2.7%	1.9%	2.2%	2.3%
9. 関心がない	9	12	21	8.0%	7.6%	7.8%	7.8%
無回答	3	3	6	2.7%	1.9%	2.2%	2.3%
計 (a)	0	340	340	0.0%	215.2%	125.9%	110.4%
無回答を除く有効回答数 (b)	337	493	830	300.9%	312.0%	307.4%	306.6%
無回答を除く回答者数(表2-1-3) (c)	112	158	270	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年齢別平均分野回答数 (d=b÷c)	3.01	3.12	3.07				

- ・年代別に関心の高い分野の第一の特徴は、具体的に例示された7分野はどれもいずれかの年代で平均より高い関心を集めている世代がある点です（灰色セル参照）。
- ・第二の特徴は、20代を含めた30代までの人々では、関心の高さがほとんどの分野について市民全体の平均値を下回っていることです。生活体験を重ねることで歴史的風致に関心が高まるのか、歴史的風致の継承への懸念が浮かび上がります。

表 2-2-4 年代別にみた関心がある分野

浜松市の歴史 や文化に関する分野	年代別回答数 ※ 計には年齢不詳1名を含む								年代計 補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	計	
1. 神社・寺院	3	15	29	29	30	41	15	162	159
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡	4	8	16	24	27	31	10	122	115
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、 歴史的まち並み	3	13	22	21	31	28	15	135	130
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの 旧街道	2	8	14	14	21	32	13	106	97
5. 鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋 梁・隧道(トンネル)などの産業遺産	1	8	17	15	26	26	9	102	95
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人 の営みと関係の深い文化的景観	3	5	10	14	14	23	8	79	74
7. 祭礼・民族芸能	5	8	11	12	16	36	12	102	96
8. その他	0	0	2	0	0	2	2	6	6
9. 関心がない	2	2	3	4	5	2	3	21	23
無回答	2	0	0	1	1	0	2	6	8
計 (a)	0	25	67	124	134	171	221	841	803
無回答を除く有効回答数 (b)	23	67	124	133	170	221	87	835	795
無回答を除く回答者数(表2-1-3) (c)	16	26	37	40	63	60	30	273	273
年齢別平均分野回答数 (d=b÷c)	1.44	2.58	3.35	3.33	2.70	3.68	2.90	3.06	2.91

浜松市の歴史 や文化に関する分野	年代別対回答数比 ※ 計には年齢不詳1名を含む								年代計 補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	計	
1. 神社・寺院	18.8%	57.7%	78.4%	72.5%	47.6%	68.3%	50.0%	59.3%	58.1%
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡	25.0%	30.8%	43.2%	60.0%	42.9%	51.7%	33.3%	44.7%	42.2%
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、 歴史的まち並み	18.8%	50.0%	59.5%	52.5%	49.2%	46.7%	50.0%	49.5%	47.5%
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの 旧街道	12.5%	30.8%	37.8%	35.0%	33.3%	53.3%	43.3%	38.8%	35.7%
5. 鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋 梁・隧道(トンネル)などの産業遺産	6.3%	30.8%	45.9%	37.5%	41.3%	43.3%	30.0%	37.4%	34.8%
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人 の営みと関係の深い文化的景観	18.8%	19.2%	27.0%	35.0%	22.2%	38.3%	26.7%	28.9%	27.3%
7. 祭礼・民族芸能	31.3%	30.8%	29.7%	30.0%	25.4%	60.0%	40.0%	37.4%	35.2%
8. その他	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	2.2%	2.2%
9. 関心がない	12.5%	7.7%	8.1%	10.0%	7.9%	3.3%	10.0%	7.7%	8.3%
無回答を除く有効回答数	144%	258%	335%	333%	270%	368%	290%	306%	291%
無回答を除く回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- ・ **居住区別にみた第一の特徴**は、年代でみたのと同じように、具体的に例示された7分野はどれもいずれかの居住区で平均より高い関心を集めている点です。
- ・ **第二の特徴**は、例示された歴史的分野が、居住区の近くにある例で関心度が高くなっていることです。このことは、中区を除いて平均値より関心度の高い分野の少ない南区、浜北区の関心度の説明の一つの要因になると思われます。

表 2-2-5 居住区別にみた関心がある分野

居住区別回答数	居住区別回答数(人) ※ 計は居住区名不詳3名を含む							
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
浜松市の歴史 や文化に関する分野								
1. 神社・寺院	50	21	30	19	19	16	7	162
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡	35	19	15	15	15	15	6	121
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的 まち並み	34	18	22	13	17	18	10	134
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道	31	17	12	16	12	12	4	105
5. 鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁 隧道(トンネル)などの産業遺産	28	15	13	13	16	11	5	102
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の 営みと関係の深い文化的景観	19	10	14	8	11	10	5	78
7. 祭礼・民族芸能	25	10	23	7	16	10	8	101
8. その他	3	0	0	0	1	2	0	6
9. 関心がない	6	3	3	3	3	3	0	21
無回答	1	1	1	0	1	1	1	6
計 (a)	232	114	133	94	111	98	46	836
無回答を除く有効回答数 (b)	231	113	132	94	110	97	45	830
無回答を除く回答者数(表2-1-3) (c)	78	37	41	33	34	33	11	273
年齢別平均分野回答数 (d=b÷c)	2.96	3.05	3.22	2.85	3.24	2.94	4.09	3.04

居住区別対回答者数比	居住区別対回答者数比 ※ 計は居住区名不詳3名を含む							
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
浜松市の歴史 や文化に関する分野								
1. 神社・寺院	64.1%	56.8%	73.2%	57.6%	55.9%	48.5%	63.6%	59.3%
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡	44.9%	51.4%	36.6%	45.5%	44.1%	45.5%	54.5%	44.3%
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的 まち並み	43.6%	48.6%	53.7%	39.4%	50.0%	54.5%	90.9%	49.1%
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道	39.7%	45.9%	29.3%	48.5%	35.3%	36.4%	36.4%	38.5%
5. 鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁 隧道(トンネル)などの産業遺産	35.9%	40.5%	31.7%	39.4%	47.1%	33.3%	45.5%	37.4%
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の 営みと関係の深い文化的景観	24.4%	27.0%	34.1%	24.2%	32.4%	30.3%	45.5%	28.6%
7. 祭礼・民族芸能	32.1%	27.0%	56.1%	21.2%	47.1%	30.3%	72.7%	37.0%
8. その他	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	6.1%	0.0%	2.2%
9. 関心がない	7.7%	8.1%	7.3%	9.1%	8.8%	9.1%	0.0%	7.7%
無回答を除く有効回答数	296.2%	305.4%	322.0%	284.8%	323.5%	293.9%	409.1%	304.0%
無回答を除く回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問3 概要版の「浜松市の維持向上すべき歴史的風致」をご覧のうえご回答ください。（調査票での画像も提示）

浜松市では、浜松市歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致を以下の12項目に設定しました。浜松市は1から12の項目のうち、どの歴史的風致を大切にすべきだとお考えですか。

（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。複数回答可）

表 3-1 浜松市が大切にすべき歴史的風致（基本集計）

浜松市の12の歴史的風致	回答数	構成比	対有効回答者数比
1. 浜松城下の営みにみる歴史的風致	142	14.9%	68.6%
2. 佐鳴湖のめぐみに育まれる歴史的風致	82	8.6%	39.6%
3. 天竜川下流の荘園から継承された歴史的風致	54	5.7%	26.1%
4. 開拓地三方原台地の営みにみる歴史的風致	63	6.6%	30.4%
5. 浜名湖の漁労・養殖と豊漁豊作に感謝する歴史的風致	117	12.3%	56.5%
6. 農村歌舞伎にみる歴史的風致	62	6.5%	30.0%
7. 奥浜名湖の社寺と祭礼にみる歴史的風致	78	8.2%	37.7%
8. 三ヶ日みかんの栽培にみる歴史的風致	77	8.1%	37.2%
9. 二俣地域の営みにみる歴史的風致	55	5.8%	26.6%
10. 中央構造線沿いに点在する集落の祭礼と信仰にみる歴史的風致	64	6.7%	30.9%
11. 秋葉信仰にみる歴史的風致	91	9.6%	44.0%
12. 遠江のひよんどりとおくないにみる歴史的風致	65	6.8%	31.4%
無回答	69	7.3%	33.3%
有効回答総数（無回答を除く）（a）	950	100.0%	458.9%
有効回答者総数（無回答を除く）（b）	207		100.0%
1人あたり平均回答数（c = a ÷ b）	4.59		



・ **浜松市が大切にすべき歴史的風致**について **4人に3人が回答**

表 3-1 でみるように「無回答」69人を除く 207人（アンケート回答者総数 276人の75.0%）、約4人に3人からの回答があったことがまず大きな特徴です。

- ・ 表 2-1-1 歴史的風致に対する関心（基本集計）では「1. 関心がある」と回答した人の比率は49.5%と約半数でしたが、「3. どちらとも言えない」と回答した人（38.8%）のうち 65.7%（75.0%-49.5%=25.5%、25.5%÷38.8%=65.7%）約3人に2人がこの設問に対して回答を寄せていることがわかります。
- ・ また大切にすべきという意見が多かった順では1位が「1. 浜松城下」（68.2%）。2位が「5. 浜名湖」（57.7%）、3位が「11. 秋葉信仰」（43.8%でした）

表 3-2 浜松市が大切にすべき歴史的風致（性別）

浜松市の12の歴史的風致への関心度 (対有効回答者数比)	回答数			対有効回答者数 (b) 比			
	男	女	計	男	女	計	性別計 補正值
1. 浜松城下の営みにみる歴史的風致	57	83	142	65.5%	70.9%	68.6%	68.2%
2. 佐鳴湖のめぐみに育まれる歴史的風致	40	42	82	46.0%	35.9%	39.6%	40.9%
3. 天竜川下流の荘園から継承された歴史的風致	25	28	54	28.7%	23.9%	26.1%	26.3%
4. 開拓地三方原台地の営みにみる歴史的風致	27	36	63	31.0%	30.8%	30.4%	30.9%
5. 浜名湖の漁労・養殖と豊漁豊作に感謝する歴史的風致	52	65	117	59.8%	55.6%	56.5%	57.7%
6. 農村歌舞伎にみる歴史的風致	27	34	62	31.0%	29.1%	30.0%	30.0%
7. 奥浜名湖の社寺と祭礼にみる歴史的風致	38	39	78	43.7%	33.3%	37.7%	38.5%
8. 三ヶ日みかんの栽培にみる歴史的風致	33	44	77	37.9%	37.6%	37.2%	37.8%
9. 二俣地域の営みにみる歴史的風致	23	30	55	26.4%	25.6%	26.6%	26.0%
10. 中央構造線沿いに点在する集落の祭礼と信仰にみる歴史的風致	29	35	64	33.3%	29.9%	30.9%	31.6%
11. 秋葉信仰にみる歴史的風致	39	50	91	44.8%	42.7%	44.0%	43.8%
12. 遠江のひよんどりとおくないにみる歴史的	32	33	65	36.8%	28.2%	31.4%	32.5%
無回答	28	40	69	32.2%	34.2%	33.3%	33.2%
有効回答総数（無回答を除く）(a)	422	519	950	485.1%	443.6%	458.9%	464.3%
有効回答者総数（無回答を除く）(b)	87	117	207	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1人あたり平均回答数 (c = a ÷ b)	4.85	4.44	4.59				4.59

(注) 回答数計には性別不詳を含んでいます。灰色のセルは男女で5%以上の差のある歴史的風致

- ・ **浜松市が大切にすべき歴史的風致**への回答を表 3-2 の性別で見ると、12の歴史的風致について、男性と女性の対回答者数比とで大きな違いはありませんが。
- ・ 男性と女性とで差が5ポイント以上ある風致では、女性が「1. 浜松城下（略、以下同じ）」の1つ、男性が「2. 佐鳴湖」、「7. 奥浜名湖の社寺」、「12. 遠江のひよんどりの3つで大切にすべき歴史的風致への意見が高くなっています。

- ・浜松市が大切にすべき歴史的風致の回答を年代別でみたのが表 3-3 です。
- ・表 3-3 の回答数の下の「1人あたり平均回答数」の平均は 4.61 個でした。
70代(5.38個)が多かった反面、20代、30代が低い結果となりました。
- ・どの年代も、最低2つの風致で市全体の平均を5ポイント以上上回っています。
- ・また、世代によって「大切にすべき風致」の内容は異なりますが「9」を除いた11の歴史的風致に幅広く関心が集まっている点が特徴です。

表 3-3 浜松市が大切にすべき歴史的風致（年代別）

浜松市の12の歴史的風致	年代別回答数 (人) ※ 計は年齢不詳1名を含む								計	年代計補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上			
1. 浜松城下の営みにみる歴史的風致	7	11	23	26	35	29	11	142	141	
2. 佐鳴湖めぐみに育まれる歴史的風致	3	9	13	14	17	23	3	82	80	
3. 天竜川下流の荘園から継承された歴史的風致	2	5	7	10	11	14	5	54	53	
4. 開拓地三方原台地の営みにみる歴史的風致	2	12	13	9	8	15	4	63	67	
5. 浜名湖の漁労・養殖と豊漁豊作に感謝する歴史的風致	8	17	24	15	18	25	10	117	125	
6. 農村歌舞伎にみる歴史的風致	2	4	5	9	18	18	6	62	56	
7. 奥浜名湖の社寺と祭礼にみる歴史的風致	3	6	15	15	14	22	3	78	77	
8. 三ヶ日みかんの栽培にみる歴史的風致	9	12	15	9	12	14	6	77	87	
9. 二俣地域の営みにみる歴史的風致	2	6	9	10	13	10	5	55	55	
10. 中央構造線沿いに点在する集落の祭礼と信仰にみる歴史的風致	2	5	8	13	12	18	6	64	62	
11. 秋葉信仰にみる歴史的風致	3	5	17	14	21	20	11	91	89	
12. 遠江のひよんどりとおくないにみる歴史的風致	2	4	7	13	14	18	7	65	62	
無回答	4	3	5	7	19	18	12	69	69	
有効回答総数(無回答を除く) (a)	45	96	156	157	193	226	77	950	953	
有効回答者総数(無回答を除く) (b)	12	23	33	34	45	42	18	207	207	
1人あたり平均回答数 (c = a ÷ b)	3.75	4.17	4.73	4.62	4.29	5.38	4.28	4.59	4.61	

浜松市の12の歴史的風致 (灰色: 平均 = 年代計補正值より5ポイント高い世代)	年代別対有効回答者数 (b) 比 ※ 計は年齢不詳1名を含む								計	年代計補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上			
1. 浜松城下の営みにみる歴史的風致	58.3%	47.8%	69.7%	76.5%	77.8%	69.0%	61.1%	68.6%	68.1%	
2. 佐鳴湖めぐみに育まれる歴史的風致	25.0%	39.1%	39.4%	41.2%	37.8%	54.8%	16.7%	39.6%	38.8%	
3. 天竜川下流の荘園から継承された歴史的風致	16.7%	21.7%	21.2%	29.4%	24.4%	33.3%	27.8%	26.1%	25.5%	
4. 開拓地三方原台地の営みにみる歴史的風致	16.7%	52.2%	39.4%	26.5%	17.8%	35.7%	22.2%	30.4%	32.1%	
5. 浜名湖の漁労・養殖と豊漁豊作に感謝する歴史的風致	66.7%	73.9%	72.7%	44.1%	40.0%	59.5%	55.6%	56.5%	60.6%	
6. 農村歌舞伎にみる歴史的風致	16.7%	17.4%	15.2%	26.5%	40.0%	42.9%	33.3%	30.0%	27.1%	
7. 奥浜名湖の社寺と祭礼にみる歴史的風致	25.0%	26.1%	45.5%	44.1%	31.1%	52.4%	16.7%	37.7%	37.2%	
8. 三ヶ日みかんの栽培にみる歴史的風致	75.0%	52.2%	45.5%	26.5%	26.7%	33.3%	33.3%	37.2%	42.0%	
9. 二俣地域の営みにみる歴史的風致	16.7%	26.1%	27.3%	29.4%	28.9%	23.8%	27.8%	26.6%	26.7%	
10. 中央構造線沿いに点在する集落の祭礼と信仰にみる歴史的風致	16.7%	21.7%	24.2%	38.2%	26.7%	42.9%	33.3%	30.9%	29.9%	
11. 秋葉信仰にみる歴史的風致	25.0%	21.7%	51.5%	41.2%	46.7%	47.6%	61.1%	44.0%	42.8%	
12. 遠江のひよんどりとおくないにみる歴史的風致	16.7%	17.4%	21.2%	38.2%	31.1%	42.9%	38.9%	31.4%	29.8%	
無回答	33.3%	13.0%	15.2%	20.6%	42.2%	42.9%	66.7%	33.3%	33.3%	
有効回答総数(無回答を除く) (a)	375.0%	417.4%	472.7%	461.8%	428.9%	538.1%	427.8%	458.9%	460.5%	
有効回答者総数(無回答を除く) (b)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

- ・浜松市が大切にすべき歴史的風致の回答を居住区別でみたのが表3-4です。
- ・居住区別の特性として、天竜区の回答率が高く平均より5ポイント以上上回った回答率の歴史的風致は12のうち10にのぼっています。反面で中区、南区、浜北区は1部を除き平均かそれを下回る歴史的風致が多くなっています。

表3-4 浜松市が大切にすべき歴史的風致（居住区別）

浜松市の12の歴史的風致	居住区別回答数（人） ※ 計は居住区名不詳3名を含む							
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
1. 浜松城下の営みにみる歴史的風致	43	24	21	17	15	15	7	142
2. 佐鳴湖めぐみに育まれる歴史的風致	24	14	17	10	5	5	6	82
3. 天竜川下流の荘園から継承された歴史的風致	13	15	6	6	4	5	5	54
4. 開拓地三方原台地の営みにみる歴史的風致	15	11	7	8	10	6	5	63
5. 浜名湖の漁労・養殖と豊漁豊作に感謝する歴史的風致	34	19	18	16	11	13	6	117
6. 農村歌舞伎にみる歴史的風致	13	11	11	7	8	7	5	62
7. 奥浜名湖の社寺と祭礼にみる歴史的風致	21	11	13	8	12	7	6	78
8. 三ヶ日みかんの栽培にみる歴史的風致	23	15	10	7	7	9	5	77
9. 二俣地域の営みにみる歴史的風致	14	9	11	7	4	5	5	55
10. 中央構造線沿いに点在する集落の祭礼と信仰にみる歴史的風致	19	10	7	6	7	8	7	64
11. 秋葉信仰にみる歴史的風致	24	16	15	9	8	12	7	91
12. 遠江のひよんどりとおくないにみる歴史的風致	17	8	12	6	10	7	5	65
無回答	19	6	9	8	13	11	1	69
有効回答総数（無回答を除く）（a）	260	163	148	107	101	99	69	950
有効回答者総数（無回答を除く）（b）	60	32	33	25	22	23	11	197
1人あたり平均回答数（c=a÷b）	4.33	5.09	4.48	4.28	4.59	4.30	6.27	4.82

浜松市の12の歴史的風致 (灰色：平均＝居住区計補正值より5ポイント高い居住区)	対有効回答数比（b） ※ 計は居住区名不詳3名を含む							
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
1. 浜松城下の営みにみる歴史的風致	71.7%	75.0%	63.6%	68.0%	68.2%	65.2%	63.6%	72.1%
2. 佐鳴湖めぐみに育まれる歴史的風致	40.0%	43.8%	51.5%	40.0%	22.7%	21.7%	54.5%	41.6%
3. 天竜川下流の荘園から継承された歴史的風致	21.7%	46.9%	18.2%	24.0%	18.2%	21.7%	45.5%	27.4%
4. 開拓地三方原台地の営みにみる歴史的風致	25.0%	34.4%	21.2%	32.0%	45.5%	26.1%	45.5%	32.0%
5. 浜名湖の漁労・養殖と豊漁豊作に感謝する歴史的風致	56.7%	59.4%	54.5%	64.0%	50.0%	56.5%	54.5%	59.4%
6. 農村歌舞伎にみる歴史的風致	21.7%	34.4%	33.3%	28.0%	36.4%	30.4%	45.5%	31.5%
7. 奥浜名湖の社寺と祭礼にみる歴史的風致	35.0%	34.4%	39.4%	32.0%	54.5%	30.4%	54.5%	39.6%
8. 三ヶ日みかんの栽培にみる歴史的風致	38.3%	46.9%	30.3%	28.0%	31.8%	39.1%	45.5%	39.1%
9. 二俣地域の営みにみる歴史的風致	23.3%	28.1%	33.3%	28.0%	18.2%	21.7%	45.5%	27.9%
10. 中央構造線沿いに点在する集落の祭礼と信仰にみる歴史的風致	31.7%	31.3%	21.2%	24.0%	31.8%	34.8%	63.6%	32.5%
11. 秋葉信仰にみる歴史的風致	40.0%	50.0%	45.5%	36.0%	36.4%	52.2%	63.6%	46.2%
12. 遠江のひよんどりとおくないにみる歴史的風致	28.3%	25.0%	36.4%	24.0%	45.5%	30.4%	45.5%	33.0%
無回答	31.7%	18.8%	27.3%	32.0%	59.1%	47.8%	9.1%	35.0%
有効回答総数（無回答を除く）（a）	433.3%	509.4%	448.5%	428.0%	459.1%	430.4%	627.3%	482.2%
有効回答者総数（無回答を除く）（b）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

質問4 浜松市の歴史的風致12項目について、お考えをお尋ねします。

質問4-1 浜松市の歴史的風致は、多くの市民が誇りに思う「公共的な価値」を持っているとお考えでしょうか。1つだけ○をお付けください。

- ・浜松市の歴史的風致に「公共的価値がある」と回答した人は276人のうち170人(61.6%)でした。市民の6割強が歴史的風致の公共的価値を認めています。
- ・一方で「ないと思う」と回答した人は276人のうち21人(7.6%)でした。「どちらともいえない」という回答者は81人(29.3%)となっています。
- ・性別(表4-1-2)では、「公共的価値がある」と回答した人は男性も女性も6割を超えていますが、「ないと思う」という回答では女性の方が低くなっています。

表4-1-1 浜松市の歴史的風致の公共的価値
(基本集計)

	回答数	構成比
1. 公共的価値があると思う	170	61.6%
2. ないと思う	21	7.6%
3. どちらともいえない	81	29.3%
無回答	4	1.4%
計	276	100.0%

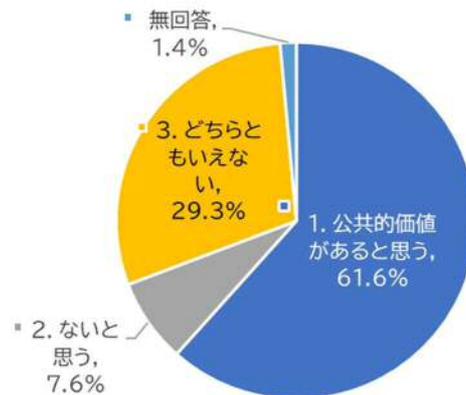


表4-1-2 浜松市の歴史的風致の公共的価値(性別)

浜松市の歴史的風致の 公共的価値(性別)	回答数				構成比			
	男	女	不詳	計	男	女	計	計の 補正值
1. 公共的価値があると思う	70	97	3	170	60.9%	61.8%	61.6%	61.5%
2. ないと思う	11	10	0	21	9.6%	6.4%	7.6%	7.8%
3. どちらともいえない	32	48	1	81	27.8%	30.6%	29.3%	29.2%
無回答	2	2	0	4	1.7%	1.3%	1.4%	1.5%
計	115	157	4	276	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注) 表4-1-1の構成比は性別の標本の偏りを補正した表4-1-2の「計の補正值」の計算前の集計値なので補正都値と異なっています。

・浜松市の歴史的風致に「公共的価値がある」と答えた回答を年代別にみると、「1.あると思う」と答えた20代の50.0%から70代と80代の70.0%まで年代が上がるにつれて高くなっています。(表4-1-3)。同じことを居住区別にみた表4-1-4では東区(73.7%)から浜北区(52.9%)から天竜区(50.0%)まで開きがあります。

表 4-1-3 浜松市の歴史的風致の公共的価値（年代別）

	年代別回答数（人） ※ 計は年齢不詳1名を含む								年代計 補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
1. 公共的価値があると思う	8	14	19	22	43	42	21	170	163
2. ないと思う	2	3	4	2	4	4	2	21	23
3. どちらともいえない	6	9	14	17	16	12	7	81	87
無回答	0	0	1	0	1	2	0	4	3
計	16	26	38	41	64	60	30	276	276

	年代別回答数構成比（%） ※ 計は年齢不詳1名を含む								年代計 補正值
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	
1. 公共的価値があると思う	50.0%	53.8%	50.0%	53.7%	67.2%	70.0%	70.0%	61.6%	59.1%
2. ないと思う	12.5%	11.5%	10.5%	4.9%	6.3%	6.7%	6.7%	7.6%	8.2%
3. どちらともいえない	37.5%	34.6%	36.8%	41.5%	25.0%	20.0%	23.3%	29.3%	31.5%
無回答	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	1.6%	3.3%	0.0%	1.4%	1.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 4-1-4 浜松市の歴史的風致の公共的価値（居住区別）

	居住区別回答数（人） ※ 計は居住区名不詳3名を含む								計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不詳	
1. 公共的価値があると思う	49	28	27	20	20	18	6	2	170
2. ないと思う	6	4	1	3	3	3	6	1	27
3. どちらともいえない	22	5	13	10	12	13	0	0	75
無回答	2	1	1	0	0	0	0	0	4
計	79	38	42	33	35	34	12	3	276

	居住区別回答数構成比（%） ※ 計は居住区名不詳3名を含む								計
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不詳	
1. 公共的価値があると思う	62.0%	73.7%	64.3%	60.6%	57.1%	52.9%	50.0%	66.7%	61.6%
2. ないと思う	7.6%	10.5%	2.4%	9.1%	8.6%	8.8%	50.0%	33.3%	9.8%
3. どちらともいえない	27.8%	13.2%	31.0%	30.3%	34.3%	38.2%	0.0%	0.0%	27.2%
無回答	2.5%	2.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

上の質問で「1」の意見に○を付けた方に、お尋ねします。

(「2」「3」の意見に○を付けた方は以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。)

「歴史的風致の維持・向上の効果」

浜松市の歴史的風致は、市民はもちろんのこと、市外からお越しになる観光客にとっても浜松の魅力の一つであり、集客の要素の一つとなっています。歴史的風致の維持・向上には、次のような効果があります。

●観光資源整備に伴う地域活性化と郷土文化の誇りの醸成

・地場産業の振興・交流人口の効果 ・各地域のアイデンティティの確立 ・地域の固有の伝統文化を保全し、後世に継承 ・街並み景観の向上・回遊性の向上

●地域活動の活性化

・地域の魅力の認識・発信 ・地域住民機運の高まり・地域行事の復活・住民主体のまちあるきやワークショップの開催・行政内外におけるまちづくりの推進・教育効果

●歴史的建造物の意匠の保全を図り、滅失を最小限にする

・建物・まち並みの保全・活用 ・災害からの復旧・復興

「歴史的風致の維持・向上の課題」

文化財指定されていない歴史的建造物は、維持管理に多くの費用がかかること、所有者の高齢等を背景に滅失が進みます。そして、浜松市特有の伝統的な行事や祭礼、農林水産業は担い手や後継者不足などでそれらの存続が危ぶまれ、美しい景観とともに消失していくことが心配されます。

質問4-2 公共的価値があると回答された歴史的風致の維持・管理には、人手や費用がかかりますが、将来の世代に渡り、浜松市の歴史的風致を残し市民の活動を支えるために、仮に市民の拠出する税金や基金でまかなうとした場合、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

・前問で「公共的価値がある」と回答した人（全体の61.6%）のうち、資金の拠出に賛成と答えた人は71.8%（全体の44.2%：参考表2）でした。

表4-4-1 歴史的風致の維持管理経費への市民の税や基金の「拠出」への意見（基本集計）

維持・管理のための税金や基金の拠出に	賛成	反対	わからない	無回答	計
「公共的価値があると思う」と回答した人	122	10	36	2	170
	71.8%	5.9%	21.2%	1.2%	100.0%

【参考】以下の集計は質問4-1で回答「1」以外を付けた人以外の方が誤って回答したため集計に含めない

2. 公共的価値はないと思う	3	6	2	10	21
3. どちらともいえない	3	6	10	62	81
無回答	2	0	0	2	4
計（1 + 2 + 3）	130	22	48	76	276

【参考2】全回答者数に対する比率

市民の資金の拠出に	賛成	反対	わからない	無回答	計
1. 公共的価値があると思う	44.2%	3.6%	13.0%	0.7%	61.6%
2. 公共的価値はないと思う	1.1%	2.2%	0.7%	3.6%	7.6%
3. どちらともいえない	1.1%	2.2%	3.6%	22.5%	29.3%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%
回答者総計（1 + 2 + 3）	47.1%	8.0%	17.4%	27.5%	100.0%

- ・質問 4-2 に対して「公共的価値がある」と答えた人に対して、資金の拠出への回答を男女別にみると、男性が 69.1%、女性が 73.5%と女性の方がやや高い結果となっています。また市民の拠出に「2,反対」と答えた回答は男性が 7.4%でしたが女性は 4.9%と少なくなっています。
- ・表 4-4-3 で市民の資金の拠出について年代別にみると、最も低い 50 代の 61.5%を除いて多くの年代で 70%台となっており、20 代は回答者が少ないことを考慮しなければなりません、81.8%と最も高くなっています。
- ・表 4-4-4 で居住区別にみたとき、どの区でも 70%前後の高い比率を示していて、浜松市民の約半数近い人（表 4-4-1 の参考 2 の 44.1%）は、どの区の市民であっても、自分たちで公共的価値のある浜松市の歴史的風致を資金面でも支えるという意向を持っていることを伺うことができます。

表 4-4-2 歴史的風致の維持管理経費への市民の税や基金の「拠出」への意見（性別）

公共的価値を持つと回答した人	回答者数（人）			構成比（%）			
	男	女	計	男	女	計	男女計補正比
税金や基金の拠出に							
1. 賛成	47	75	122	69.1%	73.5%	71.8%	71.4%
2. 反対	5	5	10	7.4%	4.9%	5.9%	6.1%
3. わからない	15	21	36	22.1%	20.6%	21.2%	21.3%
無回答	1	1	2	1.5%	1.0%	1.2%	1.2%
計	68	102	170	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 4-4-3 歴史的風致の維持管理経費への市民の税や基金の「拠出」への意見（年代別）

公共的価値を持つと回答した人	年代別回答者数（人） ※ 計は年齢不詳 1 名を含む							
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
税金や基金の拠出に								
1. 賛成	9	11	22	16	22	27	14	122
2. 反対	1	0	2	2	1	3	1	10
3. わからない	1	3	6	7	6	9	4	36
無回答	0	1	0	1	0	0	0	2
計	11	15	30	26	29	39	19	170

公共的価値を持つと回答した人	年代別回答者数構成比（%） ※ 計は年齢不詳 1 名を含む								
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	年代計補正值
税金や基金の拠出に									
1. 賛成	81.8%	73.3%	73.3%	61.5%	75.9%	69.2%	73.7%	71.8%	72.1%
2. 反対	9.1%	0.0%	6.7%	7.7%	3.4%	7.7%	5.3%	5.9%	6.0%
3. わからない	9.1%	20.0%	20.0%	26.9%	20.7%	23.1%	21.1%	21.2%	20.5%
無回答	0.0%	6.7%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 4-4-4 歴史的風致の維持管理経費への市民の税や基金の「拠出」への意見（居住区別）

公共的価値を持つと 回答した人	居住区別回答数（人） ※ 計は居住区名不詳3名を含む								
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不詳	計
税金や基金の拠出に									
1. 賛成	31	16	23	14	13	18	5	2	122
2. 反対	3	1	1	0	1	3	1	0	10
3. わからない	9	5	6	6	6	3	1	0	36
無回答	0	1	0	1	0	0	0	0	2
計	43	23	30	21	20	24	7	2	170

公共的価値を持つと 回答した人	年代別回答者数構成比（%） ※ 計は年齢不詳1名を含む								
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	不詳	計
税金や基金の拠出に									
1. 賛成	72.1%	69.6%	76.7%	66.7%	65.0%	75.0%	71.4%	100.0%	71.8%
2. 反対	7.0%	4.3%	3.3%	0.0%	5.0%	12.5%	14.3%	0.0%	5.9%
3. わからない	20.9%	21.7%	20.0%	28.6%	30.0%	12.5%	14.3%	0.0%	21.2%
無回答	0.0%	4.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注意) 質問4-2で(浜松市の歴史的風致の維持・管理のために税金や基金などの拠出に「1. 賛成」と回答された方にお尋ねします。

以下は、浜松市の歴史的風致について皆さまの価値観を、金額で評価する仮想評価法(CVM)という手法に基づいて「仮に」という仮定でお尋ねする質問です。(浜松市が実際に行うわけでは決してありません。)また、市民の皆さんが基金を拠出するとした場合、その額だけ家計の消費や貯蓄の減少となることをご承知の上でご回答ください。

質問4-3 現在の歴史的風致を守るために、その費用を市民が基金によって負担するとした場合、仮に基金の金額を(月額100円※)とします。あなたの家計では、この金額を負担しても、歴史的風致の維持・管理に賛成でしょうか

(この質問の解説) 歴史的風致に対する市民の価値観を金銭評価するために、仮想市場評価法(Contingent Valuation Method; CVM)という手法を用いています。

アンケートの質問4-1で「浜松市の歴史的風致は公共的価値をもっているか」という問いに「1. 公共的価値があると思う」と回答した人(170人)に重ねて、歴史的風致を維持・管理するために「市民の税金や基金でまかなうことに賛成か反対か」を尋ねた質問4-2の問いに「1. 賛成」と回答した人(122人)に調査対象を絞り、具体的に「毎月〇〇円」と1つの金額を提示し、「1. 賛成」と回答した人には、さらに1段階上の金額を提示して同じく賛成か反対か尋ねることで、回答者の価値観を**支払い意思額(Willingness to pay: WTP)**で表すために尋ねています。

提示額に「2. 反対」と回答した人には1段階低い金額を提示して支払い意思額を2回尋ねてます(2項選択のダブルバウンド方式)。金額のランクは調査者の想定している金額の範囲などを知られ先入観をもって回答することを防ぐため回答者には明示せず、10段階(50円から2,000円まで)のうちの10通りの金額の最初に1つを無作為に(ランダムに)回答者に提示しています。

集計では、どの提示金額であれ1回目が「1. 賛成」2回目も「1. 賛成」と回答した人の価値観はその2つの金額の範囲内には無く、伺い知ることができないため、除外します。1回目の提示額に「2. 反対」、2回目も「2. 反対」と回答した人のデータも同様に集計から外します。集計には1回目に「1. 賛成」2回目の1段階高い金額に「2. 反対」と回答した人か、または1回目に「2. 反対」2回目に「1. 賛成」と回答した人のデータだけを用います。これらの人の支払い意思額(WTP)で示された価値観の範囲が推

測できるからです。集計に用いた回答者のデータは図表 4-3-1 の通り全部で 57 件（57 人）です。

(参考表)

質問4-2 市民の拠出	質問4-3										処理
	CVM										
提示額(円)	50	100	200	300	500	700	1000	1200	1500	2000	
1		1	1								集計除外
1		1	1								集計除外
1		1	2								集計利用
1		1	1								集計除外
1		1	1								集計除外
1	1	2									集計利用

表 4-3-1 の最下段に黄色のセルで示した提示額を横軸、「支払ってもよい」と回答をした人の割合（賛成確率と呼びます）を縦軸にとった散布図を描くと、図 4-3-1 のように黒いドット＝点のようになります。

青い線はこの黒いドットを直線で結んだ傾向線で、アンケート調査で得たデータなので「観測値」と呼びます。一方、赤いドットは、この観測値をもとに、ワイブル分布関数（※）という統計分布を用いて理論的に一般化した支払い意思額（WTP）曲線です。

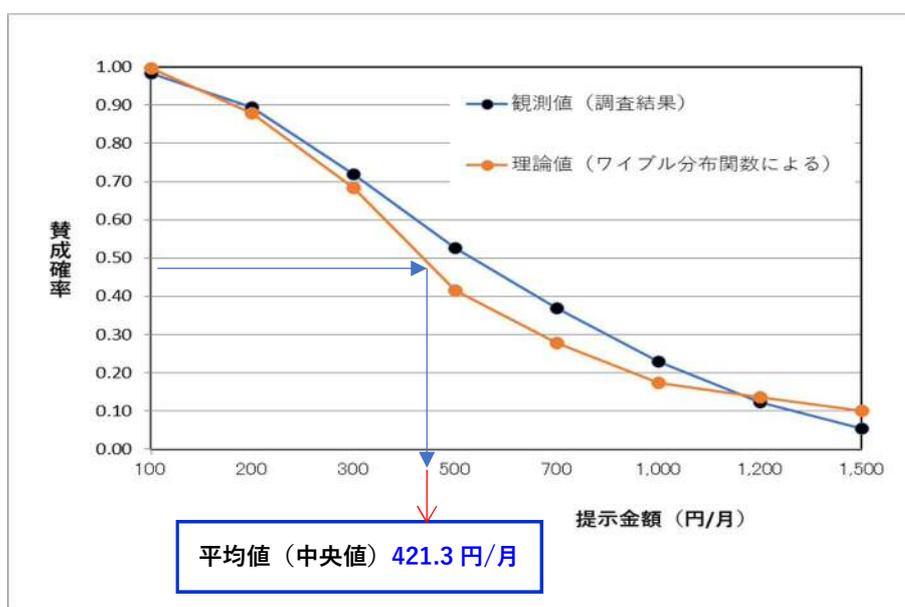
仮想市場評価法（CVM）に基づく浜松市の歴史的風致に対する市民の価値観は、本調査の場合、次の公式によって金銭評価することができます。

浜松市の歴史的風致に対する市民の価値観の金銭評価額－その 1

$$\begin{aligned}
 &= 1 \text{ 人あたり平均支払い意思額 (円/年)} \times \text{支払い意思額を持つ市民の人数} \\
 &= 1 \text{ 人あたり平均支払い意思額 (円/年)} \\
 &\quad \times \text{浜松市の歴史的風致に公共的価値があると回答した人の割合 (170 人} \div \text{276 人} \\
 &\quad \quad = 61.6\% : \text{質問 4-1)} \\
 &\quad \times \text{公共的価値があると回答した人のうち歴史的風致の維持・管理のために「資金} \\
 &\quad \quad \text{を拠出してもよい」と回答した人の割合 (122 人} \div \text{170 人} = 71.8\% : \text{質問 4-2)} \\
 &= 1 \text{ 人あたり平均支払い意思額 (円/年)} \times 18 \text{ 歳以上人口} \times 44.2\%
 \end{aligned}$$

公式の第 1 項の「1 人あたり支払い意思額」は、ワイブル分布関数を用いた計算によって図 4-3-1 に示すように、**421.3 円/月**となります。

図 4-3-1 浜松市の歴史的風致に対する価値観（支払い意思額 WTP）の 1 人あたりの平均値(中央値)を求める（仮想市場評価法：CVM による）



浜松市の歴史的風致に対する市民の価値観の金銭評価額－その2

$$\begin{aligned} &= 1 \text{人あたり平均支払い意思額 (円/年)} \times 18 \text{歳以上人口} \times 44.2\% \\ &= 421.3 \text{円/月} \times 12 \text{カ月} \times 672,383 \text{人} \times 44.2\% \\ &= 5,506 \text{円/年} \times 297,213 \text{人} \\ &= 1,503 \text{ (100万円)} \end{aligned}$$

・結論

浜松市の12の歴史的風致に対する18歳以上の浜松市民の価値観は総額で15億300万円にのびります。

- ・18歳以上浜松市民人口 672,383人（令和4年9月1日現在、住民基本台帳）A
そのうち、公共的価値があると答えた人の割合 61.6% B
そのうち市民の拠出に賛成と答えた人の割合 71.8% C
- ・支払い意思額に賛成した人数（=A×B×C）=297,213人（Aの44.2%）
- ・1人あたり平均支払い意思額は、421.3円/月（5,506円/年）でした。

【技術注】 ワイブル分布関数について

仮想市場評価法（CVM）では、提示額を説明変数、各提示額への賛成の比率（賛成確率）を被説明変数とする次の関数式を用いて、回答者1人あたりの平均的支払い意思額（WTP）を計算します。

$$F(t) = 1 - \exp\left\{-\left(\frac{t}{\eta}\right)^m\right\}$$

記号説明

$F(t)$ ：提示額 t に対する賛成確率 t ：提示金額
 $\exp\{\ \}$ ： $\{\ \}$ 内の数値の自然対数
 m, η ：分布の形状を決めるパラメータ η （イータ）

m はワイブル係数（形状パラメータ）、 η は尺度パラメータと呼ばれますが、表 4-3-1 の提示額と賛成確率の観測値から求めたワイブル分布の係数、尺度パラメータは以下の通りとなっている。 \hat{R}^2 は自由度調整済決定係数で、1に近いほど理論式の精度を表している。

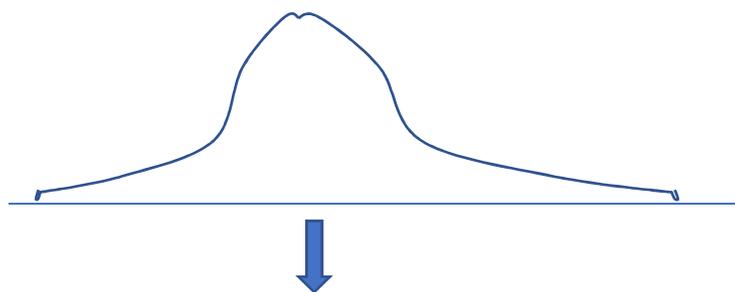
$$m = -1.4889, \eta = 8.6317 \quad \hat{R}^2 = 0.9375$$

平均的な支払い意思額は、平均値ではなくて中央値（回答金額のランクのちょうど真ん中の金額（中央値））とします。平均値ではなく中央値を用いるのは平均値を用いると金額の大きい支払い意思額に引きずられて支払い意思額が高くなりすぎるのを避けるためです。

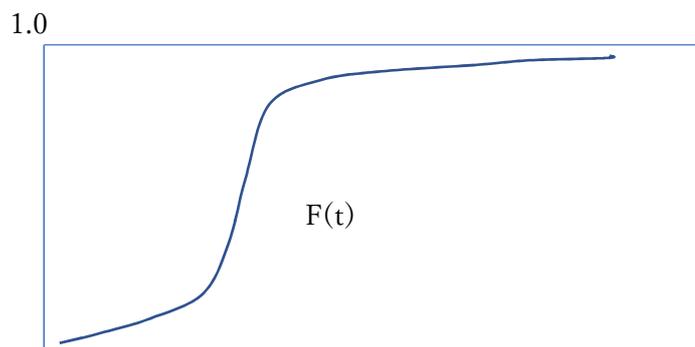
ワイブル分布は、左右対称な正規分布ではなく、頂点が右や左に偏っている分布をいいます（図 4-3-2）

ワイブル分布（左右非対象の釣り鐘型） A

分布下の面積は全体で 1

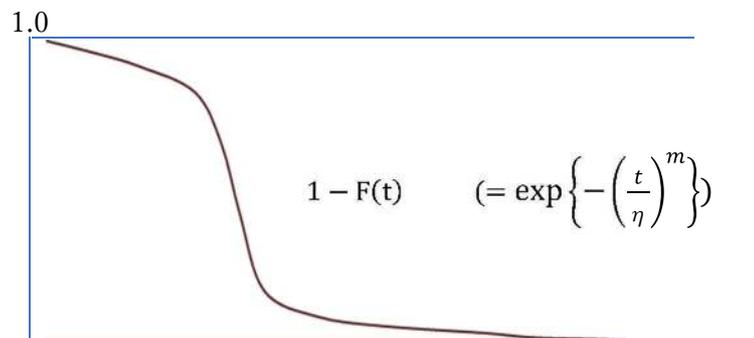


ワイブル分布下の面積（確率密度）を左から累積させた分布 B



分布 B を 1 から引いた分布（減衰曲線） C

この分布が 24 ページの図 4-3-1 のワイブル分布曲線



(参考) この C の分布は機械部品の時間に対する劣化現象や
寿命を統計的な説明や予測に使われています。
ワイブル分布 (Weibull distribution)